

令和7年度 放課後子ども教室紹介だより

発行：会津教育事務所 NO2



永和いなほキッズ（会津若松市）

訪問日

令和7年9月26日(金)

訪問場所

会津若松市立永和小学校 体育館



- ・開設年度：平成19年度
- ・対象：永和小学校1～6年生の希望者 31名
- ・活動回数：6月～11月まで年間24回（月・金曜日）
- ・主な活動：スポーツレクリエーション（会津レクリエーションクラブ）、民話（みつ輪かたんべ連絡会の3団体）、マジック（北クラブマジック愛好会）、パステルアート（パステル Rainbow Drop）、卓球（永和卓球クラブ）、外国を知ろう（市国際交流協会）、フライングディスク（地域教育コーディネーター）、防災教室（防災教育コーディネーター）、吹矢（北地区スポーツウエルネス吹矢クラブ）等



★ 活動の様子 ★



【いなほキッズ 防災教室】

今回、永和いなほキッズでは、防災教育コーディネーターの関谷央子さんを講師としてお招きし、防災教室が行われました。当日参加した子どもは27名。（放課後子ども教室コーディネーター1名、北公民館職員2名、安全管理員4名、会津若松市危機管理課2名）この防災教室については、会津若松市すべての放課後子ども教室で、毎年実施されています。

今年の防災教室は、災害時の避難所運営をテーマに展開されました。まず、防災教育コーディネーターから、会津盆地が断層に挟まれており地震災害のリスクがあること、そして永和小学校が地震時の避難所になることが、東日本大震災や熊本地震を具体例に挙げて説明されました。震災ボランティアの経験をもつコーディネーターの話には真実味があり、参加した子どもたちは皆、真剣に耳を傾けていました。

次に3つのミッションがグループに与えられました。

- 1「車椅子の高齢者が横になりたいと言っている。どう対応する？」
- 2「体中がかゆい。ダニがいるようだ。どう対応する？」
- 3「着替えや赤ちゃんへの授乳をしたい。どう対応する？」

子どもたちはグループで協力し、段ボールベットの組み立て、清掃の実施、パーティションによるプライベートスペースの確保といった課題解決に取り組み、20分程度の時間ですべてのミッションをクリアしました。

この防災教室を通じ、子どもたちは、避難所運営における課題解決と協力の重要性を体験的に学びました。最後に、避難所における協力の大切さと、常日頃からの備えの重要性を確認し、講座は終了。今回の経験は、「もしも」の時の行動力と、日頃からの備えへの意識を高める貴重な機会となりました。



【コーディネーターの事前説明】



↑【段ボールベットを組み立て】



【パーティションの設置】↓